

令和2年8月3日

岡山県老人保健施設協会
会 員 各 位

岡山県老人保健施設協会
会 長 秋 山 正 史

平素より協会の活動にご尽力いただきありがとうございます。

7月29日の日本全国の新型コロナウイルス感染者は新たに1264人が確認され過去最多となりました。岡山県でも市中感染と考えられる感染者が連日報告されています。新型コロナウイルス感染症が再度流行の兆しを見せており、皆様におかれましては日々の感染対策に尽力されていることと思います。

先般、岡山県と岡山県老人保健施設協会は対策協議会を行いました。協議の中で、まず患者発生時は入院対応が大原則であることを再確認しています。その原則を踏まえた上で、万が一の老健施設でのクラスター発生時の対応について話し合いをしました。

【クラスター発生時の対応について】

北海道を始め他都道府県での発生事例を見ると、クラスター発生時には防護服の着用などにより業務量が増大する一方で、職員の発症・検疫隔離あるいは出勤忌避のためにスタッフが極度に足らなくなり業務が回らなくなることが大きな問題となっていました。そこで、協会内で事前に有志を募っておき、有事の際に相互に派遣する「老人保健施設職員相互派遣事業〈支え合い〉システム」を創設することといたしました。他都道府県の老人保健施設協会でも同様の組織化を始めており、県内他の医療介護関連協会でも結成準備がすすめられています。昨今の情勢に鑑み、何とぞご協力のほど宜しくお願いいたします。有志スタッフの選抜と共に、感染予防対策の教育も並行して行いたいと考えております。

また、それ以外に、物資の不足、感染症専門家の合流、追加資金の供給についてもお願いしました。防護服等の物資については、既に県に十分な備蓄があり、クラスター発生時には放出していただくこと、またDMAT等を通しての感染症専門の医師・看護師の派遣についても約束をいただきました。さらに、職員派遣の際の人件費等追加費用につきましても第一次及び第二次補正予算で支出が認められているので、積極的に対応していただけるとのことです。

新型コロナウイルス感染症は私たち老人保健施設にとって大きな脅威です。このような困難な時期であるからこそ協会員が一致団結して共に乗り越えていきたいと思っております。「老人保健施設職員相互派遣事業〈支え合い〉システム」へのご理解、ご協力の程何卒よろしく宜しくお願いいたします。